

**KIRIN**



よろこびが  
つなぐ世界へ

Joy brings us together



# キリングループのCSV経営と情報開示

**キリンホールディングス株式会社**

**2022年10月14日**

# CSVパーパスとGMM (Group Materiality Matrix)

- キリングroupは、CSVパーパスとして「酒類メーカーとしての責任」「健康」「コミュニティ」「環境」を掲げ、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる」ことを目指す
- GMM (グループ・マテリアリティ・マトリックス) を策定・更新し、10年後を見据えた経営諸課題を定義

## CSVパーパス



## GMM (Group Materiality Matrix)

● 酒類メーカーとしての責任 ● 健康 ● コミュニティ ● 環境 ● 他の重要課題とガバナンス

高	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェルビーイングを育むつながりと信頼の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Unmet Medical Needsを満たす医薬品の提供</li> <li>● 原料生産地と事業展開地域におけるコミュニティの持続的な発展</li> <li>● 持続可能な生物資源の利用</li> <li>● 持続可能な水資源の利用</li> <li>● 容器包装資源の持続可能な循環</li> <li>● 気候変動の克服</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルコール関連問題への対応</li> <li>● 食の安全・安心の確保</li> <li>● 医薬品メーカーとしての安定供給と安全性・信頼性の確保</li> <li>● 人権の尊重</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活習慣病の予防支援</li> <li>● コンプライアンスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免疫機能の維持支援</li> <li>● 労働安全衛生の確保</li> <li>● イノベーションを実現する人材育成</li> <li>● ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li> <li>● コーポレートガバナンスの実効性向上</li> <li>● リスクマネジメントの強化</li> <li>● 個人情報の保護</li> </ul>
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 栄養へのアクセス向上</li> <li>● 租税の透明性確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食に関わる経済の活性化</li> <li>● 持続可能な物流の構築</li> <li>● サイバー攻撃への対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康経営の実現</li> <li>● 活力のある職場/風土の実現</li> <li>● グループガバナンスの強化</li> </ul>
	低	中	高

ステークホルダーへのインパクト (縦軸)

グループの事業へのインパクト (横軸)

# 世界の動きを先取りし、環境対策と情報開示を実行

➤ キリンは、環境対策にいち早く着手するとともに、開示も先行。早い開示が、マルチステークホルダーとの意見交換や外部組織との連携に通じ、自らがルールメイキングの一員として関与したり、スピーディに経営に反映することにもつながっている

- キリングループの地球環境問題への取り組みの基本方針発表 (1991)
  - 「地球環境に配慮する企業グループをめざす」と経営理念を改定 (1993)
  - 環境に配慮した容器包装等設計指針制定 (1992)
  - 環境報告書の発行開始 (1994)
    - 環境報告書英語版の発行開始 (1996)
  - キリングループ環境方針制定 (1999)
  - 環境報告書GRI対応開始 (1999)
  - 京都会議で環境対策を発表 (1997)
- 「キリングループ低炭素企業アクションプラン」発表 (2009)
- グループ・マテリアリティ・マトリックス発表 (2016)
- キリングループ環境ビジョン2050 発表
  - SBT1.5° C認証アップグレード (2020)
  - RE100に加盟 (2020)
  - キリンホールディングスグリーンボンド発行 (2020)
- キリングループ長期環境ビジョン発表 (2013)
- 「持続可能な生物資源調達ガイドライン」発表 (2013)
  - 「持続可能な生物資源利用行動計画」発表 (2013)
- 「キリングループ プラスチックポリシー」発表 (2019)
- SDGsイニシアチブとしてCSVコミットメント発表 (2017)
- 日本食品業界初のSBT認証 (2017)

## ■ 国連環境開発会議 (地球サミット) (1992)

- 板本工場と北陸工場で「ふるさとの森づくり」で植林 (1993)

## ■ 気候変動枠組み条約第3回締約国会議 (京都会議) (1997)

- 低炭素・節水先進工場の神戸工場竣工・ビオトープ設置 (1997)

● 2010年に1990年比GHG排出量25%削減を宣言 (1999)

## ■ 生物多様性条約第10回締約国会議 (2010)

- 大びん100% 軽びん化 (2003)

● 2050年に1990年比GHG排出量半減宣言 (2009)

## ■ SDGs採択 (2015)

- スリランカ紅茶産園へのレインフォレスト・アライアンス認証取得支援開始 (2013)

- グローバル製造拠点をめぐり生産地の水リスク調査実施 (2014)

- 軽中びん開発・展開開始 (2014)
- 再生PET素材 100%PETボトル 使用開始 (2014)

## ■ TCFD最終報告書 (2017)

## ■ パリ協定採択 (2015)

- スリランカの紅茶小農園の認証取得支援開始 (2018)
- スリランカ紅茶産園 水源地保全活動開始 (2018)

● 国内酒類・飲料事業の紙容器でFSC認証紙使用比率100%達成 (2020)

## ■ IPCC1.5°特別報告書 (2018)

- 2030年にScope1+2, Scope3で30%減を宣言 (2017)

- 2050年にネットゼロを宣言 (2020)
- 2030年にScope1+2で50%減, Scope3で30%減を宣言 (2020)
- 2040年に使用電力再生可能エネルギー100%化を宣言 (2020)

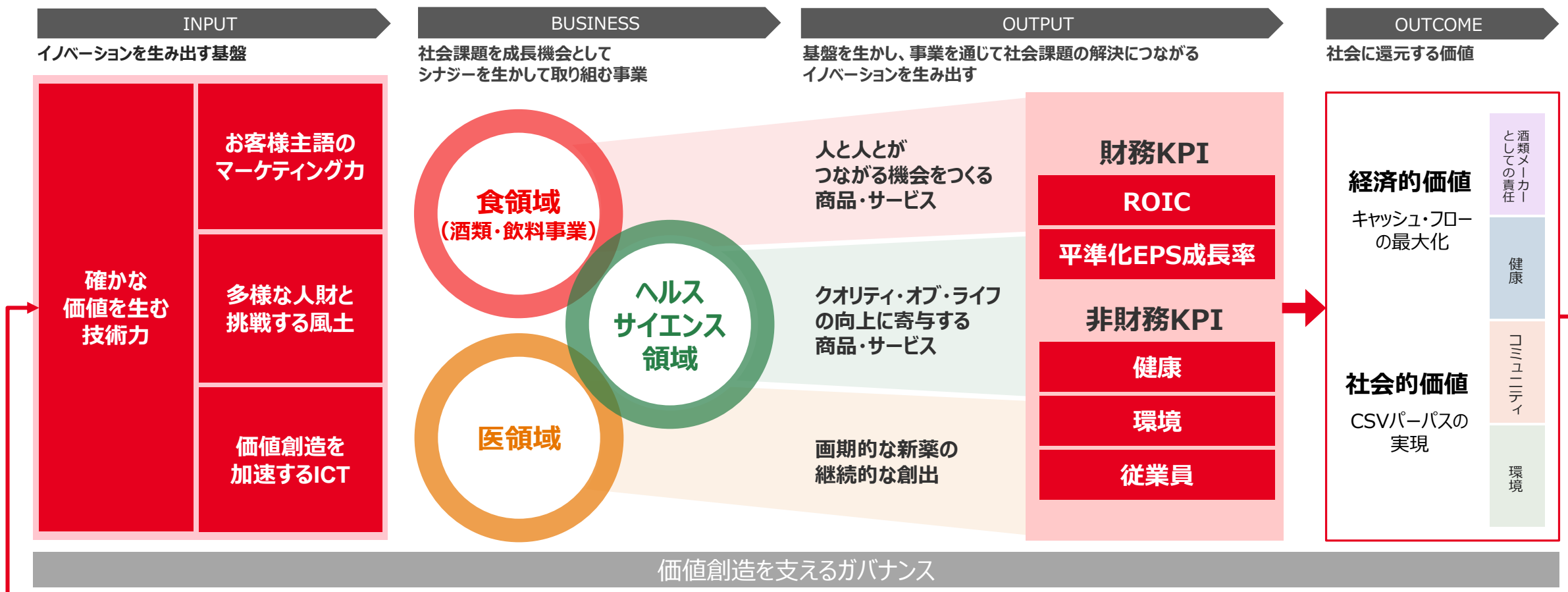
## ■ TNFD設立採択 (2021)

## ■ TCFD新ガイダンス (2021)

- スリランカ認証農園の茶葉を使った過年製品発売 (2021)
- R100ペットボトルを生茶シリーズに拡大 (2021)

# キリングループ価値創造モデル

- ▶ 技術力・マーケティング力・多様な人材・ICTを重要なインプットとして、ユニークなビジネス領域で、社会課題の解決につながるイノベーションを生み出し、社会に価値を還元する
- ▶ 企業価値につながり、かつステークホルダーによる価値創造の進捗モニタリングに資する（サステナビリティ情報含む）非財務情報の開示を目指している





よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together